

## キリスト者必読

## 生涯学習のためのキリスト論

- ・イエス・キリストをより一層、深く知り、社会のただ中で忠実に従っていくためのキリスト論。
- ・聖書の歴史的・文献批判的な見方も知って学んでいく。
- ・著者の信徒養成講座等での講話を基としてまとめたもので、神学の専門知識なしに読める。
- ・わかりやすい言葉を使いながら、新しい研究成果と豊かな霊性を本書でも醸し出している。
- ・受洗後も、聖書と教会の教えを学び続け、信仰生活に具体的に生かし、深い信仰としっかりした知識をもって、各教会のニーズに対応できるようになることをめざす。



## 著 百瀬 文晃

イエズス会司祭。神学博士。  
1940年生まれ。1970年フランクフルトで  
司祭叙階。帰国後は上智大学神学部  
で教義学を教える。2001年アテネオ・デ  
マニラ大学ロヨラ神学部で客員教授。  
2007年よりカトリック広島教区で司牧に  
従事し、現在に至る。

著書に『ここが知りたいキリスト教への  
25の質問』『キリスト教に問う65のQ&A』  
『キリスト教の輪郭』『キリストに出会う』  
『子どもたちと読む聖書』(女子パウロ会)  
『キリストを知るために』『キリストとその  
教会』(サンパウロ)、『キリスト教の原点  
—キリスト教概説I』(教友社)他がある。

- 第一章 洗礼者ヨハネによる洗礼：史実のイエスの研究とわたしたちの信仰/イエスの登場と歴史的背景/他  
第二章 山上の説教：「山上の説教」の伝承と編集/愛の掟/神への信頼 <暮らしの中で> 人間の真の幸せ  
第三章 罪びとたちとの食事：徴税人たちと食事をともにする/罪びとたちを招く <暮らしの中で> 現代人の罪の意識  
第四章 力のわざ：病人の癒やし/悪霊の追放/今日の奇跡信仰/他 <暮らしの中で> ルルドの癒やし  
第五章 イエスの祈り：祈るイエスの姿/イエスの肉声「アッバ」/イエスの教えた「主の祈り」 <暮らしの中で> 日々の祈り  
第六章 パンのふやしの物語：物語の背景にある二つのこと/主の晩餐の儀式/他 <暮らしの中で> 食卓を囲む者の交わり  
第七章 宣教活動に訪れた危機：イエスの受難と死の予知/他 <暮らしの中で> 神に代わる呼びかけと人々の応答  
第八章 最後の晩餐：弟子たちとの別れの食事/「主の晩餐」(ミサ)の制定 <暮らしの中で> 主イエスの死と復活の記念  
第九章 イエスの受難と死：最高法院によるイエスの裁判/総督ピラトによるイエスの裁判/十字架刑/他  
第十章 イエスの復活：空の墓の物語/史実として確認される事柄/イエスの復活についての最古の証言/他  
第十一章 弟子たちへの出現：エマオの弟子たちへの出現物語/十二人への出現物語/他 <暮らしの中で> イースターの祝い  
第十二章 昇天と聖霊降臨：「主の昇天」とは/聖霊降臨とは/聖霊とは/三位一体への信仰/他 <暮らしの中で> 十字を切る習慣  
付論 教義のキリスト論：新約聖書キリスト論/神の子の「先在」/ヘレニズム世界の宗教と哲学との対決

定価1,485円(1,350円+税) 四六判 216頁 並製 ISBN978-4-7896-0825-1 C0016